

特集

紙と電子、 ハイブリッド読書の すすめ

目次

紙と電子、
ハイブリッド読書のすすめ

教員著書紹介

自著を語る

教員著書寄贈

図書館からのお知らせ

新聞記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」の使い方動画について

電子ブックのご紹介

学生希望図書の申込み募集中!

冬の企画展示

ILLサービスの停止について

編集後記



ハイブリッド読書のすすめ

まえがき

紙の本と電子書籍、普段どのように利用されていますか？

図書館では、非来館型サービスの向上や書架スペース問題から、電子書籍の購読を年々増やしています。紙と電子、両者の利点と需要を踏まえ、どのように収集し提供していくかが今後の大きな課題です。今号の特集では各学部より3名の先生方に、ハイブリッド型の読書に対するご意見や使い分け方、新たな図書館サービスへのご要望についてお伺いしました。

紙や電子の枠組みを超えた読書への視点から、具体的なおすすめ図書・電子書籍のご紹介まで、実施を検討中の全学的なアンケート調査に先駆け、貴重なご意見をいただきました。

上杉 和央

知が生成される空間に関する議論から言えば、紙媒体の本(物質としての本)と読書人との間に発生する関係性は無視できないものとなる。読書の際、紙媒体を持つ手、紙媒体をまなざす目などを介して読書人に与える影響(もちろんその逆も)は、その時空に応じて、そして身体性にも応じて、変化する。読書体験とは本の中身だけで問われるべきではなく、そうした知の空間の全体が問われねばならない。紙媒体の持つ物質性がその時々で変化することもまた、そうした知の空間の特性である。

とはいえ、こうした議論は電子媒体にも通じるものである。文字や絵、図が電子状態(!)となったとしても、それは何らかのモノを通じて(すなわち電子「媒体」となって)読書人と取り結ばれる。紙媒体にのみ物質性を認める議論は視野が狭いと言わざるを得ず、知の箱としてのモノは変わらず、その知だけが無限に変化するという電子媒体の意味を論ぜねばならない。

独創的な知の創造は、型にはまった知の空間からは生まれない。本との間にどのような関係を取り結ぶか、その自由度が保障されることが大学生の未来の可能性を保障することになる。大学図書館のサービスは、まずもって大学生の方向を向いていなければならない。

(歴史学科 准教授)

子どもの頃から読書が好きで、本は断然「紙」派である。分厚い小説の頁を夢中でめくっていて(SFとファンタジーは長ければ長いほど良いと思っている)、ふと気づけば左手に残された頁数がわずかになっていたときの達成感、物語が終わってしまうことへの一抹の寂しさ……これは何ものにも代えがたい。

しかし大人になった今、研究や調査のためとなれば形にこだわってはいられない。何といっても紙の本はかさばる。本棚はたちまちいっぱいになってしまうし、持ち運ぶにも重い。その点電子書籍は優秀で、かつては学会出張の際に本や論文を詰め込んだキャリーバッグを転がしていたのが、タブレット端末1台でスマートに出かけられるようになった。それに、本愛好家としては、紙の本にマーカーで線を引いたりするのはためらわれるものである。データであれば、タッチペンで気楽にメモを書き込むことができる。そんなわけで、最近の仕事のための本はデータで読むことが多くなった。

私の専門分野で学生さんにおすすめしたい電子書籍は、潮見佳男ほか編『18歳からはじめる民法[第4版]』(法律文化社、2019年)。身近な法律問題とその解決策が分かりやすく書かれている、法学の入門書として最適な1冊である。

Withコロナの時代、在宅で資料収集をする機会が増えている。府立大図書館は様々なデータベースと契約していて、簡単な操作で自宅からも利用できるものがあるので大変有難い。学生さんも卒論や期末レポート執筆の際にはぜひご活用を！ (公共政策学科 准教授)



『18歳からはじめる民法』
第4版, 潮見佳男ほか編,
法律文化社, 2019.4
(電子ブック)



吉本 優子

私は断然、紙媒体の読書を好みます。本や雑誌を、好きなときに本棚や鞆から取り出して、ページをめくり、紙面の活字を眼で追います。線を引きながら読むこともあります。ただ、ここ数年は、小さな活字を眼で追うのが辛くなり、また、部屋の中に積み上がった本や雑誌を整理するのが大変になってきました。そのため、文字を大きくすることができて、積み上がることもない電子媒体も、選ぶようになってきました。

専門分野の書籍については、まずは紙媒体を選びます。そして、気に入った書籍については、置いた場所がわからなくなって困らないように、電子媒体を追加します。食関連の図鑑形式の書籍は、検索がしやすい電子媒体を選びます。料理レシピの書籍についても、参照しながら料理がしやすいことから、電子媒体を選びます。また、洋書の場合は紙媒体よりも安価に購入できるため、電子媒体を選ぶことが多くなりました。

健康・食関連のキャラクター図鑑シリーズ『たべることがめっちゃくちゃ楽しくなる！栄養素キャラクター図鑑』(田中明ほか監修)などや、農山漁村文化協会出版の食関連の書籍『伝え継ぐ日本の家庭料理』などは、学生さんにも読んでもらいたいと思います。

図書館には、まずは電子教科書、教職関連の書籍、学生の希望図書、文献検索のデータベース、食/健康関連の全集・図鑑シリーズなどの充実を、期待しています。また、学生からは文献検索方法の質問を受けることも多いため、図書館の利用に関するバーチャルツアーをご用意いただければ有り難いです。(食保健学科 准教授)



『伝え継ぐ日本の家庭料理』
日本調理科学会企画・編集,
農山漁村文化協会, 2017-2021
(請求記号596.211|T|1-16)

教員著書紹介



自著を語る

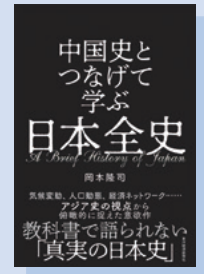
『中国史とつなげて学ぶ日本全史』

岡本 隆司

日本史に関する書物はゴマンとあるけれど、あまり類書はないかも。
筆者は東洋史家なので、日本史を書く義務も権利もない。知識も素養も不十分だ。それでも日本人であって、また東洋史における日本史と日本人の役割も、それなりに知っていれば、発言権はなくはない。そんな心構えで書き下ろしてみた。

転変する世界史と関連する政治・経済・社会の動態から、古代から現代まで通観した中国史がまずベースになる。はるかに日本史より先行するからで、その関係と対比から日本の史実経過をみなおした。細かい人物名や年号には立ち入らず大局をみわたすのを心がけたつもり。

一元的凝集社会で多層的な政治を実現した日本史は、多元化した社会の政治的な統合を課題とする中国史と対峙した。現代まで通じる東洋史最大のモチーフである。こんな日本史なら、日本史家ないし日本史ファンのお邪魔にもなるまい。
(歴史学科 教授)



『中国史とつなげて学ぶ日本全史』

岡本隆司著、
東洋経済新報社、
2021.11(請求記号
210.1822|10)

教員著書寄贈(2022年4月1日～2022年11月30日)

上梓されました際はご恵贈くださいますようお願いいたします。

| 寄贈者名 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版日付 | 請求記号 |
|---------------|--|------------------------------|--------------------------|---------|--------------|
| 阿部拓児 | はじめて学ぶ西洋古代史 | 長谷川岳男編著 | ミネルヴァ書房 | 2022.10 | 209.3 H |
| 市村太郎 | あいまい・ぼんやり語辞典 | 森山卓郎編 | 東京堂出版 | 2022.6 | 814 M |
| 井上直樹 | 高句麗・渤海史の射程： 古代東北アジア史研究の新動向 | 古畑徹編 | 汲古書院 | 2022.2 | 221.03 F |
| 上杉和央 | みわたすつなげる自然地理学 | 小野映介, 吉田圭一郎編 | 古今書院 | 2021.10 | 450 O |
| 岡本隆司 | 中国史とつなげて学ぶ日本全史 | 岡本隆司著 | 東洋経済新報社 | 2021.11 | 210.1822 10 |
| 奥谷三穂 | くらしの景観：日本と中国の集落 | 奥谷三穂, 上杉和央編 | 臨川書店 | 2022.3 | 290.13 O |
| 小松謙 | 詳注全訳水滸伝 第2巻 | 小松謙訳注 | 汲古書院 | 2022.4 | 923.5 S 2 |
| 佐藤茂 (名誉教授) | 近江を中心とした伝統野菜文化史：野菜が 物語る地域の歴史：食文化の多様性を探る | 佐藤茂著 | 養賢堂 | 2021.10 | 626 S |
| 出口菜摘 | サークル・ゲーム | マーガレット・アトウッド 著/出口菜摘訳 | 彩流社 | 2020.5 | 931.7 A |
| 中純夫 | 東アジアの王権と秩序： 思想・宗教・儀礼を中心として | 伊東真之編 | 汲古書院 | 2021.10 | 302.2 I |
| 中村考志 | 知っておきたい和食の文化 | 佐藤洋一郎編 | 勉誠出版(発売) | 2022.2 | 383.81 S |
| 山口美知代 | 英語をめぐる言語態度の東アジア比較 研究：映像メディア分析と教育的活用 (科学研究費補助金(基盤研究C)研究 成果報告書) | 山口美知代(代表) | 山口美知代 | 2018.3 | 830.4 Y |
| 横内裕人 | 宗教遺産テキスト学の創成 | 木俣元一, 近本謙介編 | 勉誠出版(発売) | 2022.3 | 162 K |
| 横道誠 | イスタンブールで青に溺れる： 発達障害者の世界周航記 | 横道誠著 | 文藝春秋 | 2022.4 | 290.9 Y |
| 吉田朱美 | Ireland-Japan connections and crossings : celebrating sixty-five years of diplomatic relationships | edited by John FitzGerald | Cork University Press | 2022 | 319.33901 F |

※敬称略、五十音順。2冊以上ご恵贈の場合、1冊まで掲載させていただいております。



新聞記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」の使い方動画について

朝日新聞社が提供する「朝日新聞クロスサーチ」は、朝日新聞の紙面から、記事や広告が検索できる国内最大級のオンライン新聞記事データベースです。過去に起こった出来事を手軽に調べられるほか、朝日新聞デジタル(一部のコラムなど)や雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も読むことができます。

2022年3月、「聞蔵Ⅱ ビジュアル」が全面リニューアルして「朝日新聞クロスサーチ」へと生まれ変わりました。使い方の動画(約13分)がYouTubeで公開されていますので、リニューアル後の利用方法が今一つよくわからない方や初めてお使いになる方は必見です！

基本的な検索方法をマスターして、効率良くデータベースをご利用ください。

朝日新聞クロスサーチ
使い方の動画(約13分)



「朝日新聞クロスサーチ」や電子ブックは
こちらからご利用ください
(府大関係者のみ利用可)



電子ブックのご紹介

府大生に一番利用されているオンライン辞書・事典データベース「JapanKnowledge Lib(ジャパンナレッジリブ)」は、百科事典、国語辞典、英語だけにとどまらない言語辞書、歴史辞典がよく知られていますが、実は電子ブックも充実しています。

電子ブックは、時間や場所を問わず、貸出や返却の手続きも不要で、貸出冊数の上限がないところが魅力です。調べ物はもちろん、読書にもおすすめできる「JapanKnowledge Lib」を、用途に応じて活用してください。

「JapanKnowledge Lib」電子ブックの一例

- 東洋文庫 ● 新編 日本古典文学全集 ● 文庫クセジュ ベストコレクション
- **New** 新釈漢文大系 ● 日本歴史地名大系 ● 古事類苑 ● 江戸名所図会
- 週刊エコノミスト2021-2022 ● マナーと常識辞典 ● **New** 風俗画報

など多数



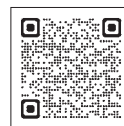
学生希望図書の申込み募集中！(電子ブックも可)

このたび電子書籍のリクエストと、メールでの申込み受付をスタートしました！

読みたい本が図書館にない場合はこの機会にぜひご利用ください。

※原則として学習、研究のための図書に限ります。

申込み方法はこちら▶





冬の企画展示

ただいま企画展示コーナーでは、図書館に配架してから一度も貸出されたことのない本のうち、おすすめの図書をピックアップして展示しています。春休み貸出（1月下旬開始予定）と併せてぜひとも、ご一読ください。

期間 2022年12月17日(土)～2023年3月31日(金)

場所 2Fフロア開架雑誌棚の上部スペース

テーマ 「貸出回数0、冬眠中の本たちに目覚めの時を！」



ILL サービスの停止について

国立情報学研究所(NII)のシステム更新に伴い、下記の期間はILL(他大学等への文献複写・現物貸借依頼)サービスが利用できません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

サービス停止期間 2023年1月17日(火)～1月31日(火)



▲詳しくはこちら

編集後記

積み重ねたところから生まれる何か…図書館報も積み重ねた歴史があります。前号から紙面をリニューアルしましたが、利用される皆さんから喜ばれる、親しみやすい図書館を目指した取組み、思いというのは少しも変わっていないと、以前の図書館報を手にとるとそう感じます。その中で大学図書館の果たす役割というのは、時代とともに少しずつ変化しているようです。そういったことを感じられる図書館報をお届けします。 (S.E.)

『なからぎ』京都府立大学図書館報 240号 ISSN:1344-5561

2023年1月発行 編集発行人:小林啓治

発行所:京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

TEL) 075(703)5128~5131 FAX) 075(703)5192

HP) <https://www2.kpu.ac.jp/toshokan/toshokan.html>

Twitter) アカウント名:京都府立大学附属図書館(@kpu_library)

▼図書館HP

▼Twitter

